

令和3年度

事業報告書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

公益財団法人都市緑化機構

令和3年度事業報告

はじめに

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の変異株の拡大が続き、「密」を避ける新しい生活様式（ニューノーマル）の継続が求められ、都市における働き方や住まい方が問い直された中であって、都市における身近な緑の空間の重要性が改めて認識・評価された。また「グリーンインフラ」の取組の本格化等に伴って、従前にも増して官民連携による緑地の保全・再生、良好な緑化空間の創出、緑化の推進が求められるようになった。

このような動向を受け、都市の緑に関する調査・研究・技術開発や、緑の保全・創出に関わる情報の発信による市民、事業者、地方公共団体等の様々な取組への支援、優れた緑化活動を行う団体等の顕彰・助成の実施等により、みどりの「わ」を構築し、みどりに関する国民運動を推進する当機構の諸事業の一層の展開が求められたところである。

このような中、国営公園におけるニューノーマルに対応したリモートワークの実証実験など新たな調査研究の試みを展開した。また、国際目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の達成にも貢献しつつ、人と自然が調和したみどり豊かな都市づくりの実現を目指し、公益財団法人としての運営面の強化を図りながら、事業を実施した。

1 都市緑化に関する普及啓発

(1) 全国都市緑化フェア

国民の緑化意識の高揚を図るため、第38回全国都市緑化くまもとフェア「くまもと花とみどりの博覧会～THE GREEN VISION 未来への伝言～」を、熊本城公園及びシンボルプロムナード一帯（街なかエリア）、水前寺江津湖公園一帯（水辺エリア）、立田山（まち山エリア）をメイン会場に開幕した（5月22日まで）。

主 催 熊本市、公益財団法人都市緑化機構

開 催 地 メイン会場：熊本城公園及びシンボルプロムナード一帯（街なかエリア）、
水前寺江津湖公園一帯（水辺エリア）、立田山（まち山エリア）

パートナー会場：県内すべての市町村（45市町村）の花や緑の名所等、市内各区の
地域資源、空港、駅、港、ターミナルなどの交通拠点

開催期間 令和4年3月19日（土）～5月22日（日）（65日間）

また、フェアにおける普及啓発催事の一環として、緑地の良好な管理運営や都市緑化の推進、緑地の保全に関する各種活動を通じ、緑地の市民開放等による地域社会への貢献等に顕著な功績が認められ全国の範となる企業の取組みを顕彰する、第9回みどりの社会貢献賞の表彰式を全国都市緑化祭において実施した。受賞した企業、社会貢献活動は以下のとおり。

- ・九州産業交通ホールディングス株式会社「サクラマチクマモト・サクラマチガーデン」
(熊本県熊本市)
- ・霧島酒造株式会社「焼酎の里 霧島ファクトリーガーデン」(宮崎県都城市)
- ・株式会社ケイ・エフ・ケイ小川「地域と自然と共に、心をつなぐ緑地整備」(熊本県宇城市)

さらに、熊本県内において、子どもたちの環境教育に係るプログラム運営に取り組んだ6団体に対し、公益財団法人高原環境財団の協力により活動支援を行った。

(2) 全国都市緑化祭

第39回全国都市緑化くまもとフェアの中心的な行事として、令和3年度全国都市緑化祭を開催した。

なお、開催にあたっては新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、都道府県を跨いで移動を控えるためオンライン方式を併用し、開催にあたって佳子内親王殿下のご視聴及びビデオメッセージによるおことば、ビデオ録画による記念植樹の実施、受賞者等とのオンラインによるご接見を賜った。

主 催	国土交通省、熊本県、熊本市、公益財団法人都市緑化機構
式典会場	熊本城ホール メインホール
開 催 日	令和4年3月30日(水)
式典概要	主催者挨拶 佳子内親王殿下おことば(ビデオメッセージ) 表彰 ・庭園出展コンテスト ・みどりの社会貢献賞 児童による都市緑化宣言 閉会宣言(式典終了後、記念植樹、受賞者等とのオンラインによるご接見)

(3) 都市緑化キャンペーン及び普及啓発ポスター

市民の都市緑化意識の高揚を目的に、都市緑化推進運動協力会の事務局として毎年10月の都市緑化月間中に開催している都市緑化キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来のイベント形式による開催を中止し、ホー

ムページ、SNS（インスタグラム）を活用したキャンペーン（GREEN PROJECT 2020）を昨年に引き続き実施し、都市緑化推進運動協力会会員の活動を紹介する等の情報発信を行った。また、小中学校の壁新聞「育て！子どもたち」（産経広告社）を活用しコロナ禍における公園緑地の安心安全な利用促進の普及を目指した記事を作成し掲出した。

また、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により、普及啓発ポスター等を作成し、以下のとおり配布、掲載した。

掲載時期 「春季における都市緑化推進運動」（4月1日～6月30日）

「都市緑化月間」（10月1日～10月31日）

配布枚数 各 12,000 枚

配布先 国、地方公共団体、緑化関係団体、日本商工会議所の会員、
日本民営鉄道協会加盟の私鉄各社等 910 団体及びその関係団体

（４）スカイフロントフォーラム

コロナ禍による感染拡大を踏まえ、共催者である特定非営利活動法人屋上開発研究会との調整の上、開催を延期した。

（５）その他

令和３年度「都市緑化月間」（10月1日～10月31日）をはじめ、国や緑化関係団体等が行う緑化に関する諸行事に対する後援、協賛を行った。

２ 都市緑化に関する顕彰・助成

（１）都市の緑３表彰

１）緑の都市賞

明日のみどり豊かな都市づくり・まちづくりの推進を目的として、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な実績と成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を顕彰している。

第41回「緑の都市賞」は、審査委員会（令和3年9月17日（金）開催。委員長：樺山 紘一 印刷博物館館長）を経て、以下の10件が受賞した。

第 41 回緑の都市賞 受賞者一覧

賞	部門	受賞者
内閣総理大臣賞	緑の市民協働	渡里湧水群及び緑地等の保全と活用（茨城県水戸市） 渡里湧水群を活かす会
国土交通大臣賞	緑の市民協働	街中に多様な生物が共生する美しい雑木林を復元 （神奈川県横浜市） 港北ニュータウン緑の会
	緑の事業活動	グランドメゾン浄水ガーデンシティ（福岡県福岡市） 積水ハウス株式会社/内山緑地建設株式会社/古賀緑地建設株式会社/清水建設株式会社/株式会社手島建築設計事務所/株式会社フィールドフォー・デザインオフィス
	緑のまちづくり	「岐阜県都市公園活性化基本戦略」に基づく県営都市公園の活性化（岐阜県） 岐阜県
都市緑化機構 会長賞	緑の市民協働	西山古道を核とする京都西山の里山緑化まちづくり事業 （京都府京都市・長岡京市） 特定非営利活動法人京おとくに・街おこしネットワーク
	緑の市民協働	生き物の命をつなぐ森づくり（京都府乙訓郡大山崎町） 久保川と天王山の森を守る会
	緑の事業活動	暫定広場 GOOD PARK プロジェクト（埼玉県大里郡寄居町） 一般社団法人ドコデモヒロバ
奨励賞	緑の市民協働	環境保全の大切さを伝える環境活動（埼玉県狭山市） 特定非営利活動法人ジョイライフさやま
	緑の市民協働	緑豊かな公園づくり（新潟県燕市・三条市） 特定非営利活動法人ネットワークみどり緑
	緑のまちづくり	グリーンインフラを活用した散歩したくなるまちづくり （大阪府吹田市） 吹田市

2) 緑の環境プラン大賞

みどり豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成等を実現することを目的として、優れたプランを国土交通大臣等によって表彰し、そのプランの実現のための助成を行う第 32 回「緑の環境プラン大賞」を、一般財団法人第一生命財団との共催により実施した。

第 32 回「緑の環境プラン大賞」は、審査委員会（令和 3 年 9 月 10 日（金）開催。委員長：進士 五十八 福井県立大学学長）を経て、シンボル・ガーデン部門として以下の 3 団体に対して約 2,400 万円（1 団体あたり約 800 万円）、ポケット・ガーデン部門として以下の 10 団体に対して約 1,000 万円（1 団体あたり約 100 万円）の助成を決定した。

第32回緑の環境プラン大賞 受賞者一覧

●国土交通大臣賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
シンボル・ガーデン	ビバテラス・まなびの森庭プロジェクト	岩手県盛岡市	BeBA TERRACE 運営協議会
ポケット・ガーデン	園庭まるごとビオトーププロジェクト	福島県郡山市	社会福祉法人どろんこ会 八山田どろんこ保育園

●緑化大賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
シンボル・ガーデン	(仮称) 九段南一丁目プロジェクト九段ひろば	東京都千代田区	合同会社ノーヴェグランデ
シンボル・ガーデン	唐招提寺「香りの薬草園」鑑真和上才花苑	奈良県奈良市	宗教法人唐招提寺

●コミュニティ大賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
ポケット・ガーデン	日本の四季を五感で感じ、食育活動に繋がる保育園	宮城県石巻市	株式会社エルプレイス ハピネス保育園南境
ポケット・ガーデン	あびっこたちの『ぼうけんやま』	千葉県我孫子市	社会福祉法人 樹 聖華みどり保育園
ポケット・ガーデン	五感で感じる色彩と香り。時を越えて紡がれる記憶	静岡県浜松市	社会福祉法人慈愛会 瞳ヶ丘こども園
ポケット・ガーデン	-すべてを育む、風の吹く丘- 「育むガーデン河芸」	三重県津市	渡辺硝子株式会社
ポケット・ガーデン	地域を結び、世代を結ぶ。食育庭園『ゆうわの庭』	兵庫県神崎郡市川町	特定非営利活動法人合氣道 播磨裕和会
ポケット・ガーデン	古都に広がる里山の彩り	奈良県奈良市	奈良・人と自然の会
ポケット・ガーデン	令和に伝えるふるさとの自然 「ふれあい里山ガーデン」	広島県広島市	広島市立倉掛小学校
ポケット・ガーデン	地域の寄る処『ふる里の庭』へ	福岡県糸島市	西日本短期大学 緑地環境学科 山本ゼミ
ポケット・ガーデン	もりのちいさな図書館	熊本県葦北郡芦北町	NPO 法人みさと

3) 屋上・壁面緑化技術コンクール

建築物等の屋上や壁面、人工地盤などの特殊空間における緑化技術の普及推進による都市環境の改善と豊かな都市生活の実現を目的として、優れた緑化技術を用いて、ヒートアイランド現象の緩和、省資源・省エネルギーの推進、生物多様性の確保といった都市環境の改善やみどりを活用した新たな空間の創出

を実現した作品を顕彰している。今回も応募作品の面積が 300 m²以下の「小規模空間の緑化」をテーマとする特定テーマ部門を実施した。

第 20 回「屋上・壁面緑化技術コンクール」は、審査委員会（令和 3 年 9 月 13 日（月）開催。委員長：山田 宏之 大阪府立大学大学院教授）を経て、以下の 8 件が受賞した。

第 20 回屋上・壁面緑化技術コンクール 受賞者一覧

賞	部門	受賞者
国土交通大臣賞	屋上緑化	SAKURA MACHI Kumamoto（熊本県熊本市） 九州産交ランドマーク株式会社/株式会社日建設計/大成・吉永・岩永・三津野・新規建設工事共同企業体/西武造園株式会社/株式会社景匠館/株式会社皆樂園
	特定テーマ	伊勢丹新宿店本館 7F 日本庭園（東京都新宿区） 株式会社フィールドフォー・デザインオフィス/株式会社三越伊勢丹プロパティ・デザイン/清水建設株式会社/株式会社日比谷アメニス
環境大臣賞	屋上緑化	WITH HARAJUKU（東京都渋谷区） NTT 都市開発株式会社/株式会社竹中工務店/株式会社伊東豊雄建築設計事務所/株式会社朝日興産
日本経済新聞社賞	屋上緑化	ミュージアムタワー京橋（東京都中央区） 株式会社永坂産業・公益財団法人石橋財団/株式会社日建設計/戸田建設株式会社東京支店/内山緑地建設株式会社
	壁面・特殊緑化	住友不動産ショッピングシティ有明ガーデン（東京都江東区） 住友不動産株式会社/前田建設工業株式会社/有限会社テラダデザイン一級建築士事務所/株式会社マインドスケープ/灯デザイン/大和リース株式会社
都市緑化機構会長賞	壁面・特殊緑化	住友商事美土代ビル 室外機芋緑化（東京都千代田区） 株式会社日建設計
	壁面・特殊緑化	MIYASHITA PARK（東京都渋谷区） 三井不動産株式会社/渋谷区/株式会社竹中工務店/株式会社日建設計/西武造園株式会社/株式会社グリーンニアン
奨励賞	特定テーマ	コーセー先端技術研究所サンクンガーデン（東京都北区） 株式会社コーセー/株式会社日建設計/株式会社大林組/株式会社日比谷アメニス/日本地工株式会社

4) 都市の緑三賞表彰式の開催

「緑の都市賞」、「緑の環境プラン大賞」、「屋上・壁面緑化技術コンクール」の受賞団体を表彰するため、「第 4 回みどりの『わ』交流のつどい ー都市の緑三賞表彰式ー」を開催した。なお、開催にあたっては新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、オンライン方式で開催し、令和 2 年度、令和 3 年度の 2 カ年の受賞者を対象とした表彰式とした（令和 2 年度の表彰式は中止）。開催にあたって佳子内親王殿下のご視聴及びビデオメッセージによるおことばを賜った。

主催	公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団
開催日	令和3年11月22日(月)
会場	明治記念館(東京都港区)(配信拠点)
式典概要	主催者挨拶 佳子内親王殿下のおことば 来賓祝辞 受賞作品紹介 (1) 令和2年度 都市の緑3表彰受賞者 (2) 令和3年度 都市の緑3表彰受賞者 受賞者代表挨拶 受賞作品パネル説明 閉会

(2) 花王・みんなの森づくり活動助成

次世代にみどり豊かな環境を引き継ぐとともに、みどりとのふれあいを通して、子どもたちの心身の健やかな成長を図ることを目的として、身近な緑を守り、育てる活動と、子どもたちがみどりとふれあう機会を創出する活動に取り組む市民団体の支援を花王株式会社との共催により実施している。

令和3年度は、平成30年、令和元年に助成対象となった計37団体に対し活動助成を行った(2年目50万円、3年目25万円)。

また令和3年度に助成した団体を対象に、団体間の交流と情報交換を目的にブロック交流報告会(ウェブ会議方式)を以下のとおり開催した。

2022年花王・みんなの森づくり活動 ブロック交流報告会1

日時 令和4年3月24日(水) 10:00~12:00

開催方法 ウェブ会議

- 参加団体
- ・公益財団法人グリーントラストうつのみや(栃木県宇都宮市)
 - ・社会福祉法人滝乃川学園(東京都国立市)
 - ・特定非営利活動法人こころの森(宮城県石巻市)
 - ・特定非営利活動法人三角沼の会(秋田県秋田市)
 - ・特定非営利活動法人公益のふるさと創り鶴岡(山形県鶴岡市)
 - ・社会福祉法人せるふねっと21学童クラブピッコロ第一(熊本県玉名市)
 - ・あかゆらぬ花会(沖縄県南城市)
 - ・特定非営利活動法人珊瑚舎スコーレ(沖縄県南城市)
 - ・NPO法人いとなみ(福岡県糸島市)
 - ・グラウンドワーク大山蒜山(鳥取県日野郡江府町)
 - ・石原林道協議会(愛知県岡崎市)
 - ・みどりのまちづくりグループ(愛知県春日井市)
 - ・特定非営利活動法人花と観音の里(滋賀県長浜市)
 - ・かしわら森の会(大阪府柏原市)
 - ・ママの元気の応援mama+(静岡県袋井市)
 - ・春日山原始林を未来へつなぐ会(奈良県奈良市)
 - ・学校法人いづな学園グリーン・ヒルズ小学校、

- グリーン・ヒルズ中学校（長野県長野市）
- ・保久良夢ひろば利用者ネットワーク（兵庫県神戸市）

2022年花王・みんなの森づくり活動 ブロック交流報告会 2

日 時 令和4年3月26日（土）10:00～12:00

開催方法 ウェブ会議

- 参加団体
- ・結城里山の会（茨城県結城市）
 - ・学校法人いづな学園グリーン・ヒルズ小学校、
グリーン・ヒルズ中学校（長野県長野市）
 - ・山崎町町内会（群馬県藤岡市）
 - ・ゆりりん愛護会（宮城県名取市）
 - ・清里・朝日ヶ丘班（行政区）景観委員会（山梨県北杜市）
 - ※ビデオ映像による活動の報告
 - ・特定非営利活動法人こが里山を守る会（茨城県筑西市）
 - ・二六公園保存会（新潟県十日町市）
 - ・妙高市里山保全クラブ（新潟県妙高市）
 - ・NPO 法人森林デザイン研究所（千葉県君津市）
 - ・NPO 法人北本雑木林の会（埼玉県北本市）
 - ・湘南二宮・ふるさと炭焼き会（神奈川県中郡二宮町）

2022年花王・みんなの森づくり活動 ブロック交流報告会 3

日 時 令和4年3月26日（土）13:00～15:00

開催方法 ウェブ会議

- 参加団体
- ・特定非営利活動法人ワトワーズ多聞台（兵庫県神戸市）
 - ・保久良夢ひろば利用者ネットワーク（兵庫県神戸市）
 - ・きさいち植物園ファンクラブ（大阪府交野市）
 - ・兵庫丹波オオムラサキの会（兵庫県丹波市）
 - ・特定非営利活動法人京おとくに・街おこしネットワーク（京都府長岡京市）
 - ・「鹿野の風」プロジェクト（山口県周南市）
 - ・伊賀竜口ヤマザクラを育てる会（三重県名張市）
 - ・枯れ枝伐採ボランティア倶楽部（愛知県名古屋市）
 - ・特定非営利活動法人近自然森づくり協会（東京都港区）
 - ・子供と作ろう種から育てる未来の森（北海道札幌市）
 - ・春日山原始林を未来へつなぐ会（奈良県奈良市）

なお、本事業は令和2年度に創設20周年を迎え、令和元年度から事業内容等の見直しに関する協議を共催の相手方と実施した結果、当初の目的を達成し一定の成果が得られたことから助成事業を終了することとし、令和3年度は新規募集行わなかった。

一方で20周年を記念し、緑の市民団体のポータルサイト「もりハグ！」

(<https://morihug.net/>) を制作、公開した。これまで本事業を通じて活動助成を行ってきた市民団体がそれぞれに情報発信し交流を図ることを目的とし、団体相互のネットワーク構築を進めた。

(3) 全国花のまちづくりコンクール

花のまちづくりを普及させるため、花のまちづくりコンクール推進協議会（公益財団法人日本花の会、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会、一般財団法人日本花普及センター、公益財団法人都市緑化機構により構成）の主催により、花によるまちづくりの優れた取り組みを顕彰している。

第31回「全国花のまちづくりコンクール」は、審査委員会（令和3年7月29日（木）、9月3日（金）に開催。委員長：齋藤 京子 一般社団法人家の光協会理事）を経て、以下の134件が受賞した。なお、第31回「全国花のまちづくりコンクール」より、入賞回数が一定数に達した方々の継続的な活動を特別に称えることを目的とし、新たに「特別賞」を設けた。

第31回「全国花のまちづくりコンクール」 受賞者一覧

賞	部門	受賞者	
花のまちづくり大賞	国土交通大臣賞	市町村	小松市（石川県小松市）
		団体	ふかや緑の王国ボランティア（埼玉県深谷市）
	農林水産大臣賞	団体	檜原ゆうあい会（山口県下関市）
		個人	宮野 裕子（富山県砺波市）
文部科学大臣賞	団体	みなべ町立高城小学校（和歌山県みなべ町）	
花のまちづくり優秀賞	花のまちづくりコンクール推進協議会長賞	団体	M's Garden みどりの食いしん坊（東京都武蔵野市）
		団体	社会福祉法人浄英会 長生保育園（新潟県長岡市）
		団体	小瀬戸花いっぱい会（静岡県静岡市）
		団体	園芸ボランティア 掛川フラワーエンジェル（静岡県掛川市）
		団体	西宮市立段上小学校 園芸美化ボランティア（兵庫県西宮市）
		団体	花てまりの会（和歌山県那智勝浦町）
		団体	舞鶴公園フラワーボランティア（福岡県福岡市）
		個人	栗原 實（埼玉県深谷市）
花のまちづくり優秀賞	花のまちづくりコンクール推進協議会長賞	個人	石井 康子（福岡県福岡市）
		個人	中野 キミ子（宮崎県宮崎市）
		企業	社会福祉法人楽寿会（静岡県静岡市）

- ・花のまちづくり奨励賞 花のまちづくりコンクール審査委員会賞 [11件]
- ・花のまちづくり入選 [73件]
- ・花のまちづくり努力賞 [5件]
- ・特別賞 [29件]

(4) ユニバーサルデザイン施設等普及事業

都市公園等を誰もが支障なく共に利用でき、利用者や地域住民への潤いと安らぎを与えることを目的として、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により、優れた機能を有するユニバーサルデザイン施設等を地方公共団体等への提供を行っている。

令和3年度は、以下31団体に対し、テーブル・ベンチセット、水飲み場、高齢者対応ベンチ等のユニバーサルデザイン施設設計55基を提供した。

- 都道府県 : 群馬県、新潟県、富山県、石川県、愛知県
- 政令市 : 仙台市、川崎市、千葉市、名古屋市、神戸市、堺市、福岡市、北九州市、熊本市
- その他市町村 : 恵庭市、横手市、郡山市、取手市、下妻市、常総市、前橋市、足利市、朝霞市、焼津市、袋井市、一宮市、橿原市、福山市、東広島市
- 公園関係団体 : 一般財団法人公園財団(3か所)、公益財団法人東京都公園協会

(5) まちニワ創出活動助成

事業の実施に向け、助成内容、協賛企業との連携等について企画、検討を行った。

(6) その他の助成

東日本大震災等激甚災害の被災地において、仮設住宅や災害公営住宅等の居住環境を改善し、居住者の方々に対し植物を通じて精神的側面から支援することや、街なかでの花やみどりによる景観形成を目的として、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により地方公共団体へ花苗とプランターの提供を行っている。

令和3年度は、以下15団体に対し、計320基を提供した。

- 北海道 : 恵庭市
- 青森県 : 弘前市、八戸市
- 岩手県 : 陸前高田市、大船渡市
- 宮城県 : 仙台市、気仙沼市
- 福島県 : 相馬市
- 千葉県 : 市原市、館山市
- 岡山県 : 倉敷市
- 熊本県 : 熊本市、人吉市、宇土市、八代市

3 都市緑化に関する調査、研究、技術の開発及びこれらの成果の普及

都市環境の改善やみどり豊かな都市の実現を図るため、令和3年度において、共同研究、受託研究等の方法により、以下に係る調査、研究等を行った。

(1) 都市緑化による環境の創造、改善に関する調査、研究及び技術開発

1) 共同調査研究

① 公園緑地における防災技術に関する調査研究

都市公園の防災機能の向上に関する調査研究を行う中で、過年度より最新の検討成果や情報をもとに改訂を進めてきた「改訂版 防災公園技術ハンドブック」を令和3年5月に発行した。また、発行に合わせて防災公園の整備、都市公園の防災機能向上に関する課題や実際の管理運営事例、防災公園の今後の方向、計画・設計技術について周知する「防災公園技術研修会」を下記の通り開催した。また、本研修会については令和4年2月1日（火）～3月30日（水）までの間、オンデマンド（聴講可能な時間に聴講する方式）にて配信を行った。

防災公園技術研修会 2021 東京

日 時 令和3年12月10日（金）13:00～16:45

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

講 演 防災公園に関する国土交通省の取り組み

国土交通省都市局公園緑地・景観課 公園緑地事業調整官 舟久保 敏
災害の世紀における公園・緑地の防災機能の可能性と期待

東京都立大学 名誉教授 中林 一樹

災害に対応した都立公園の管理・運営について

公益財団法人東京都公園協会 公園事業部 防災担当課長 清水 幸一
「改訂版防災公園技術ハンドブック」の内容の解説

防災公園とまちづくり共同研究会 手代木 純、長澤 真也、鈴木 綾

② ユニバーサルデザインに関する調査研究

障がい当事者ととともに都市公園・交通機関を利用しながらアクセシビリティの研究、障がいの有無に関わらず公園の魅力を満喫する方法を研究する事業（公園を歩こう）の実施、従来のユニバーサルデザインの視点に「訪れる全ての子どもが同じように楽しく遊べる」という視点を強化したインクルーシブ公園・インクルーシブ遊具についての情報交換、視察等を行った。

③ 都市環境の保全、育成、創造に関する調査研究

公園や緑地の新しい活用として、インクルーシブ公園に関するヒアリングを実施した。また、コロナ禍における公園や緑地の維持管理や利用のされ方

に関するヒアリング、グリーンインフラの普及に向けた検討等を実施し、これからの時代におけるみどりによる都市環境の保全・育成及び魅力ある都市環境の創造を目的とした事業活動並びにその健全な経営管理手法に関する調査研究及び技術開発について、大学、事業者等が共同で調査し、その有効な手法等の検討を行った。

2) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

- ・都市緑化等による温室効果ガス吸収源対策等の推進等に関する調査
- ・土地利用変化による土壌炭素の変動量評価と国家インベントリへの適用に関する研究：開発地に関する土地利用変化に伴う土壌炭素蓄積変化の解明
- ・UR 都市機構における都市公園等の水害対策に関する基礎検討業務

(2) 都市における新たな緑化空間の創出に関する調査、研究及び技術開発

1) 共同調査研究

① 環境緑化に関する調査研究

環境緑化技術に関する研究活動及び本研究参加者の研究活動への理解を深めるため研究者発表会（ウェビナー形式）を開催した。また、屋上緑化に関連する技術、基礎的な理解のための技術冊子として、屋上緑化防水手引き小冊子の編集を行った。

緑化技術開発として「樹木の耐風性試験」、「豪雨状況を仮定した土壌種別雨水貯留測定試験」、「つる植物登はん抑制試験」、「屋上緑化防水リニューアル工検討プロジェクト」を実施した。また、国土交通省合同庁舎3号館の屋上庭園の経年変化を把握するため「国土交通省合同庁舎3号館屋上庭園の調査」を実施した。

令和3年度 環境緑化に関する研究者発表会

日 時 令和3年11月29日（月）13:30～17:30

開催方法 ウェビナー方式

講 演 知っておきたい屋上緑化の基礎知識 防水編発刊にあたって

田島ルーフィング株式会社 綿引 友彦

都市緑化の普及・推進を目指す技術者の使命とは？

環境緑化技術共同研究会 調査研究部会長 橘 大介

市街地再開発に伴う都市緑化等による暑熱環境改善効果について

東京都環境科学研究所都市地球環境研究チーム

主任研究員 常松 展充

竹炭を混合させた土壌の屋上緑化への適用可能性

千葉工業大学創造工学部建築学科 准教授 石原 沙織

適切な灌水管理と「緑」のダム

レイ・ソーラデザイン株式会社 代表取締役 大森 僚次
クマノザクラとその実生苗育成の第1報

環境緑化技術共同研究会 緑化技術分科会長 直木 哲
植物による室内環境浄化機能分析とメンタルヘルスケアに関して
株式会社プラネット 代表取締役社長 大林 修一
酒匂川左岸農業用水路(鬼柳堰)におけるオオカナダモ駆除実験
東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科
准教授 浅井 俊光

2) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

- ・民間活力を生かした緑地活用・管理手法検討業務
- ・R3 国営昭和記念公園緑地空間活用調査業務

(3) 都市における緑化を推進するための植栽植物の育成、管理に関する調査、研究及び技術開発

1) 共同調査研究

① グランドカバー・ガーデニングに関する調査研究

コロナ禍において、家庭菜園やガーデニングによる園芸植物の需要が増えていることから、園芸等に使用される植物種の理解度を深めるための講演会(ウェビナー方式)を開催した。また、植栽及び維持管理等の取扱いにおいて注意が必要な外来植物を紹介する普及啓発資料「(仮)コロナ禍で盛んになるガーデニング植物 取扱予備知識」の編集を行った。

第1回 グランドカバー・ガーデニング共同研究会講演会

日 時 令和3年7月13日(火) 15:00~17:00

開催方法 ウェビナー方式

講 演 改正種苗法について～法改正の概要と留意点～

農林水産省輸出・国際局 知的財産課 種苗室長 藤田裕一

第2回 グランドカバー・ガーデニング共同研究会講演会

日 時 令和3年11月2日(木) 15:00~17:00

開催方法 ウェビナー方式

講 演 「路上園芸」で身近な街の緑を楽しむ

路上園芸学会 村田あやこ

2) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

- ・新横浜公園周辺における緑化による暑熱緩和対策 2021 年度緑化施設の維持管理・点検、調査、業務管理作業

(4) 国・地方公共団体による都市緑化、企業による緑地創出、市民・企業参加の花と緑のまちづくり等の推進に関する調査及び研究

1) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

- ・ガーデンツーリズムの効果的な普及促進及び支援手法検討調査
- ・2027 年国際園芸博覧会の認定申請書の作成及びテーマ具体化に関する調査
- ・令和 3 年度海外における日本庭園保全再生方策検討調査
- ・アルメーレ国際園芸博覧会展出調査
- ・海外からのニーズを踏まえた日本の造園・緑化技術の今後のあり方に関する調査
- ・笠山椿群生林保全シンポジウム資料作成等業務

(5) 都市緑化フォーラム 2021

都市緑化フォーラム 2021 は、「～コロナ禍の社会におけるみどりの活用に向けて～」をテーマとし、日本の健康都市の現状と今後の公園の活用についての講演、当機構内に設置している 5 つの共同研究会の活動の成果の発表、調査研究助成による助成対象論文、当機構の研究発表についてオンデマンド（聴講可能な時間に聴講する方式）にて配信を行った。また講演、研究発表に関しての質疑応答（ウェビナー方式）を行った。

また、本研修会については令和 3 年 5 月 10 日（月）～5 月 14 日（金）までの間、オンデマンド（聴講可能な時間に聴講する方式）にて配信を行った。

日 時	令和 3 年 5 月 10 日（月）～14 日（金） （質疑応答は令和 3 年 5 月 14 日（金）13:30～14:45 に実施）
開催方法	オンデマンド（聴講可能な時間に聴講する方式） （質疑応答はウェビナー方式で実施）
講 演	コロナ禍で再認識したグリーンスペースの価値 一般社団法人公園からの健康づくりネット 事務局長 大阪芸術大学建築学科 准教授 浦崎 真一 コロナ禍の公園緑地の現況 2020 年度の調査報告 グリーンビジネス・マネジメント共同研究会 日本大学 准教授 山崎 誠子 With コロナ時代の公園の楽しみ方ーユニバーサルデザインの視点からー ユニバーサルデザイン共同研究会 杉山 紫、小林 原生、芳賀 優子 新しい日常としての防災公園 防災公園とまちづくり共同研究会 運営委員長 落合 直文 コロナ禍で盛んになるガーデニング植物取扱い予備知識

グランドカバー・ガーデニング共同研究会 石川 智大、阿部 友美
ウイズコロナ社会、健康につながる緑の提案

特殊緑化共同研究会 副運営委員長 豊田 幸夫
コンジョイント分析による壁面緑化の利用者選好評価(助成対象論文)

横浜国立大学大学院 博士課程修了
みずほ信託銀行株式会社 東野 友哉
緑陰施設によるオープンスペースの暑熱緩和と魅力向上について

公益財団法人都市緑化機構 研究部 佐々木 康司
コロナ禍での SEGES (シージェス) 緑地の取り組み

公益財団法人都市緑化機構 企画調査部 藤田 昌志

なお、都市緑化に関する調査、研究、技術開発については、日本国内だけでなく海外も対象に行ったところであり、特に 2027 年に横浜市において開催が予定されている国際園芸博覧会を踏まえ、海外において今後開催される国際園芸博覧会における日本の緑化技術等の情報発信に関する調査、研究を継続して実施した。

4 都市緑化に関する評価

(1) 社会・環境貢献緑地評価システム (SEGES) による評価

緑をまもり育てる活動を通じて社会や環境に貢献している企業の緑地を対象に、特に優れた取り組みを評価・認定する事業を実施した。

1) そだてる緑部門

民間が所有する土地で緑地の保全・創出活動に取り組んでいる企業等の取り組みを認定する「そだてる緑」部門について、新規審査 2 件 (表中◎)、維持審査 13 件を実施した。

なお、令和 3 年度に予定していた更新審査は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を見送り、更新審査対象となる 12 件のうち 3 件は有効期限を延長、1 件については維持審査を実施した (令和 3 年度末現在の認定数は 30 件。認定後は更新審査 (3 年ごと、現地審査) と維持審査 (毎年、書類審査) を実施)。

また「緑の殿堂」の授与は該当なしであった (令和 3 年度末現在の「緑の殿堂」認定数は 7 件 (表中◆印)。認定後は更新審査 (5 年ごと、現地審査) を実施)。

■そだてる緑部門 令和 3 年度認定緑地一覧

認定企業・緑地名	所在地	認定年度
◆三井住友海上火災保険株式会社 駿河台の緑地と ECCOM 駿河台	東京都千代田区	2005
◆トヨタ自動車株式会社 トヨタの森	愛知県豊田市	2005

認定企業・緑地名	所在地	認定年度
◆アサヒビール株式会社 神奈川工場	神奈川県南足柄市	2005
◆ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社 幸田サイト（有効期限延長）	愛知県額田郡	2005
花王株式会社 和歌山工場	和歌山県和歌山市	2005
◆富士通株式会社 沼津工場	静岡県沼津市	2006
◆ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 大分テクノロジーセンター 国東サテライト	大分県国東市	2007
株式会社グリーン・ワイズ 本社事業所	東京都多摩市	2008
◆サンデン株式会社 サンデンフォレスト	群馬県前橋市	2008
西武鉄道株式会社 「飯能・西武の森」	埼玉県飯能市	2008
立正大学 熊谷キャンパス	埼玉県熊谷市	2008
出光興産株式会社 北海道製油所	北海道苫小牧市	2010
出光興産株式会社 愛知製油所	愛知県知多市	2010
日産自動車株式会社 日産テクニカルセンター／日産先進技術開発センター	神奈川県厚木市	2011
ダイキン工業株式会社 ダイキンアレス青谷	鳥取県鳥取市	2011
株式会社ディスコ 広島事業所 桑畑工場	広島県呉市	2012
株式会社晴海コーポレーション 晴海アイランドトリトンスクエア	東京都中央区	2014
YKK 株式会社 黒部事業所 YKK センターパーク	富山県黒部市	2016
株式会社ディスコ 長野事業所 茅野工場	長野県茅野市	2017
日本電信電話株式会社 NTT 武蔵野研究開発センタ	東京都武蔵野市	2017
旭化成株式会社／旭化成ホームズ株式会社 あさひ・いのちの森（有効期限延長）	静岡県富士市	2017
日本電信電話株式会社 NTT 横須賀研究開発センタ	神奈川県横須賀市	2018
三菱電機株式会社 受配電システム製作所	香川県丸亀市	2018
医療法人社団中郷会 新柏クリニック めぐりの庭	千葉県柏市	2019
佐川急便株式会社 佐川急便「高尾 100 年の森」	東京都八王子市	2019
首都高速道路株式会社 おおはしりの杜（大橋換気所）	東京都目黒区	2020
ローム株式会社 「森の中の本社工場」	京都府京都市	2020
独立行政法人都市再生機構 UR 賃貸住宅 常盤平団地	千葉県松戸市	2020
◎KMバイオロジクス株式会社 菊池研究所 明治ホールディングス株式会社 明治グループ自然保全区 くまもと こもれびの森	熊本県菊池市	2021
◎東レ株式会社 東海工場	愛知県東海市	2021

2) つくる緑部門

都市開発・建築行為の計画に関し、良好な緑空間を創出し、社会・環境に貢献する緑の計画であることを認定する「つくる緑」部門について、令和3年度

は新たな認定は行わなかった。

3) 都市のオアシス部門

公開性・安全性・環境への配慮等の基準を満たす民間事業者所有の緑地を認定する「都市のオアシス」部門について、令和3年度は以下の1件を新たに認定した（令和3年度末の認定数は52件、認定後は更新審査（3年ごと、現地審査）を実施）。

■都市のオアシス部門 令和3年度新規認定緑地一覧

認定緑地名	事業者名	所在地
BRANCH 札幌月寒 コポロパ	大和リース株式会社	北海道札幌市

(2) 都市緑化技術審査証明事業による評価

都市緑化技術の審査・証明は、民間企業等において開発された新技術の有効性を審査、証明し、国や地方公共団体に情報提供することにより、新技術の活用を促進し、都市の緑化に係る公共工事の質の向上や効率的な運用等に寄与することを目的としており、令和3年度はその周知・広報等を実施した。

5 都市緑化に関する人材の育成、情報の収集及び発信、国際協力等

(1) 調査研究活動への支援

大学院生等の若手研究者による都市緑化に関する調査、研究及び技術開発を奨励するため、優れた研究テーマに対して助成を行うことにより、次世代を担う若手研究者の育成を図っている。

令和3年度は、以下の研究機関に所属している5名の若手研究者の調査研究活動に対して、総額50万円の支援を行った。なお、本事業の研究成果は機関誌「都市緑化技術」において発表を行った。

所属研究機関	氏名	研究テーマ
京都大学大学院 農学研究科 森林科学専攻 博士課程 3年	王 聞	京都市の生産緑地における生態系サービスの評価と定量化
徳島大学大学院 医歯薬学研究部 助教	田代 藍	水都における生態系インフラが地域住民の健康に与える価値評価
香川大学 創造工学部 4年	河野 遼人	プランターを用いた屋上緑化における導入植物の植被率ならびに成長に影響する環境要因の推定

所属研究機関	氏名	研究テーマ
筑波大学人間総合学学術院 人間総合科学研究群 芸術学学位プログラム 1年	劉 山	芝生地のグリーンインフラ効果に関する研究-雨水管理に着目した数量的評価
千葉大学大学院 園芸研究院 博士研究員	江口 亜維子	高経年住宅団地の野外空間を活用したエディブル・ランドスケープの形成と居住者の well-being の向上に関する実践研究

(2) 都市緑化技術研修会の開催

都市のみどりに関わる実務者や技術者の能力向上、都市緑化技術に関する情報の提供及び技術の普及等を目的として、以下のとおり都市緑化技術研修会を開催した。また、本研修会については令和4年2月1日(火)～3月30日(水)までの間、オンデマンド(聴講可能な時間に聴講する方式)にて配信を行った。

日 時 令和4年1月13日(木) 10:30～17:00(講義)
令和4年1月14日(金) 9:30～16:00(現地視察、特別講演・対談)
参加者 70人
テーマ 「都市のみどりを活かす」

(令和4年1月13日(木))

講 義 グリーンインフラの潮流と緑の基本計画等法制度について
国土交通省都市局都市計画課 環境計画調整官 脇坂 隆一
ゼロ次予防の発想を取り入れた新しいグリーンインフラ
千葉大学大学院園芸学研究院 准教授 岩崎 寛
民間発意の緑地づくりとタウンマネジメント
森ビル株式会社 タウンマネージメント事業部 中 裕樹
バイオフィリックデザイン—基礎理論と応用—
兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科
教授 豊田 正博

(令和4年1月14日(金))

現地視察 東京ポートシティ竹芝
特別講演・対談

「グリーン・インフラストラクチャー：ポートランドと東京の経験からその将来を展望する」(Green Infrastructure:Prospecting its future by experiences in Portland and Tokyo)

米国ポートランド市 環境局 副局長 Dawn UCHIYAMA(通訳あり)
公益財団法人都市緑化機構 理事長 横張 真(モデレーター)

(3) 機関誌の発行

優れた緑化の取り組み事例や都市緑化技術等に関する最新情報の発信及び調査研究成果の発表等を内容とする機関誌「都市緑化技術」を発行している。

令和3年度は以下のとおり発行し、全国の造園・環境系の学部等を有する大学、図書館などの多くの閲覧が見込まれる機関・施設等に配布した。

No. 114 「バイオフィリックデザインと職場の環境～コロナ禍の社会におけるみどり～」

No. 115 「都市の緑で働くということ」

No. 116 「都市緑化技術の今」

発行部数 (各号) 2,000 部

配布箇所数 (各号) 1,000 箇所

(4) 植樹保険制度の活用支援

植樹保険の団体保険契約者として、公共植栽工事において枯損した樹木等の植替えが円滑かつ速やかに行われるよう、植栽工事請負者に対する制度の活用支援を行っている。令和3年度における植樹保険の付保件数は、287件であった。

6 その他

(1) 訪問学習等への対応

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、訪問学習等の申し込みはなかった。

(2) 都市緑化の活動を推進するための募金活動

令和3年度は、ホームページ等でのPRにより寄付の拡大に努めた。なお、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、募金活動等の実施は自粛した。

新たな取組みとして、飲料を取り扱う事業者との連携により寄附型自動販売機の設置に向けた取組みを実施した。実施にあたり、事業者と覚書を締結した。また、一例目の設置先（自治体）と包括連携協定を締結した。

(3) 都市緑化基金等連絡協議会等への協力

都市緑化基金等連絡協議会（会員数53団体）の活動に事務局として協力した。

7 会議の開催

次のとおり理事会、評議員会を開催した。

(1) 理事会

- ・令和3年5月26日(水) 決議の省略による理事会(書面決議)
議案 令和2年度事業報告及び収支決算について
定時評議員会の開催について
報告事項 資産の運用状況の報告について
- ・令和3年10月21日(木) 第27回臨時理事会
議案 規程等の改正について
報告事項 会長、理事長及び専務理事の職務執行状況報告について
資産の運用状況について
都市の緑3表彰の受賞団体について
- ・令和4年3月7日(月) 第28回通常理事会
議案 令和4年度事業計画及び収支予算について
令和4年度資産運用方針について
都市緑化基金(特定資産)の運用益の処分について
規程の新規制定及び一部改正について
報告事項 会長、理事長及び専務理事の職務執行状況報告について
第4回「みどりの『わ』交流のつどい」—都市の緑三賞表彰式—について
第38回全国都市緑化くまもとフェア及び2022年アルメーレ国際園芸博覧会について

(2) 評議員会

- ・令和3年6月11日(金) 第9回定時評議員会(決議の省略による評議員会(書面決議))
議案 令和2年度収支決算について
任期満了に伴う評議員の選任について
任期満了に伴う理事及び監事の選任について
役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の改正について
報告事項 令和2年度事業報告について
令和3年度事業計画及び収支予算について
資産の運用について

8 評議員、理事、監事の異動

(1) 評議員

令和3年6月11日付け
就任 川嶋 辰彦
就任 須磨 佳津江
就任 竹歳 誠
就任 中島 宏
就任 野口 智子

就任 藤巻 司郎
就任 椋田 哲史
就任 涌井 史郎
就任 石川 幹子
就任 富田 祐次
就任 濱野 周泰
退任 伊藤 英昌
退任 近藤 三雄

令和3年11月4日付け
死亡 川嶋 辰彦

(2) 理事

令和3年6月11日付け
就任 内田 裕郎
就任 大嶋 聡
就任 田古島 伸浩
就任 為国 浩二
就任 椰野 良明
就任 藤吉 信之
就任 矢野 龍（同日付で代表理事に選任）
就任 山口 博喜
就任 勝見 有二
就任 酒井 一江
就任 細岡 晃
就任 横張 真（同日付で代表理事に選任）
退任 五十嵐 政郎
退任 石川 幹子
退任 盛田 里香

令和4年3月31日付け
退任 為国 浩二
退任 勝見 有二

(3) 監事

令和3年6月11日付け
就任 上原 啓史
就任 鎗田 一

※令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。